

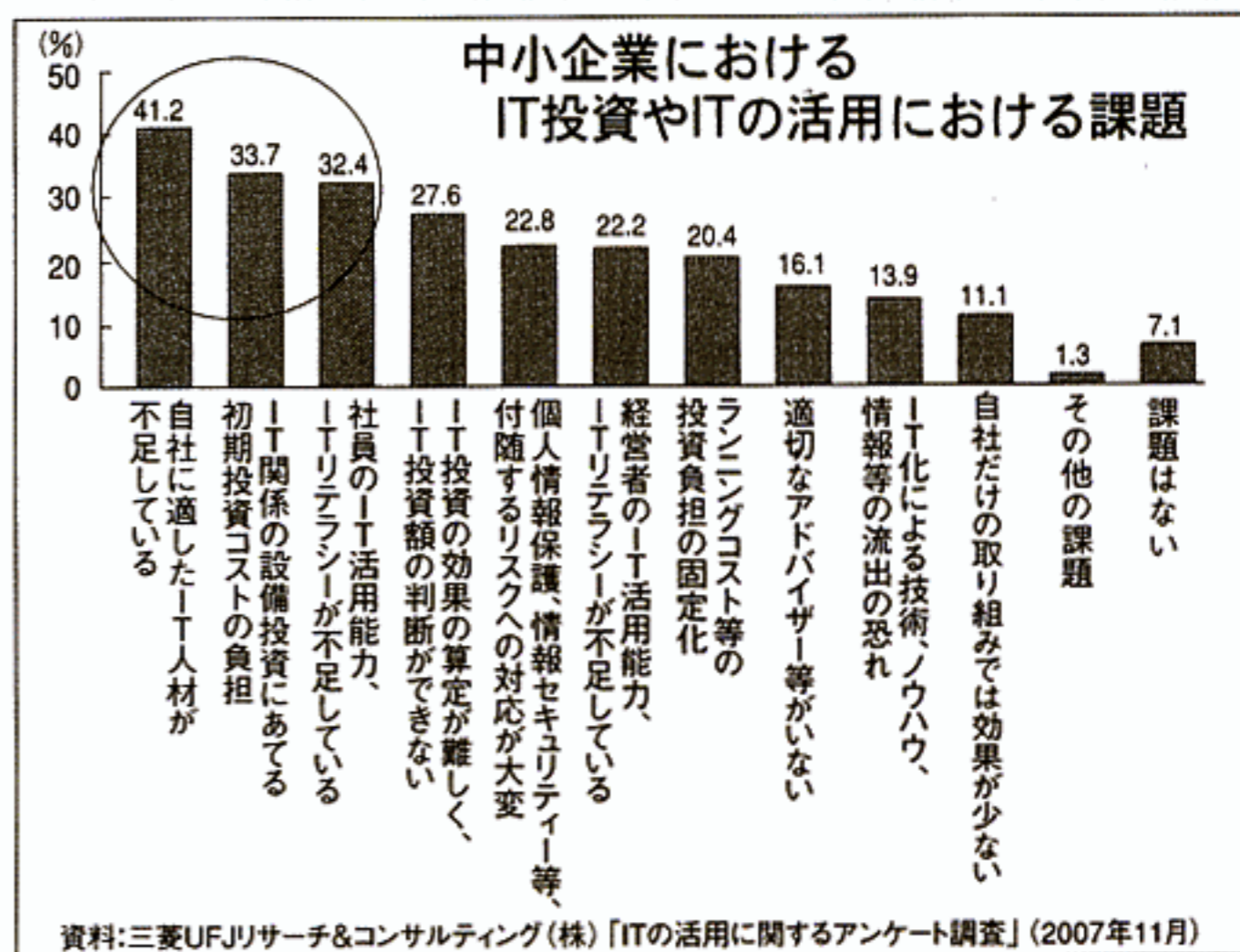
大企業と約2倍！「製造業の労働生産性」

閣議決定の「2008年版中小企業白書」によると、大企業と中小企業の製造業における労働生産性「1人1時間あたり」は約2倍の格差になった。中小企業の生産性向上にはIT「情報技術」の活用が有効策となる。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)「IT活用に関するアンケート調査」(2007年11月)によると、中小企業におけるIT投資やITの活用における課題は、企業環境に適したIT人材の不足、IT初期設備投資にあてるコスト負担、社員のIT活用能力、リテラシー不足が上位を占めた。

IT活用人材のスキルについては、1.ソリューション力、2.コミュニケーション力、3.システム処理リテラシーの3点が注目されている。

中小企業の業務プロセス合理化やコスト削減のため、全国連は、SaaS・ASP処理システムなどネット上で提供する新しいサービスの有効活用を模索している。



平成20年度全国展開事業・採択決定！

地域資源を活用した特産品開発等の全国規模販路拡大を目的に、平成18年度からスタートした「小規模事業者新事業全国展開支援事業＝全国展開プロジェクト(補助額800万円)」の、平成20年度採択案件が4月に発表され、県内商工会から8件の応募に対し3件の採択結果となった。希少価値のある未利用資源の有効活用と商品化の具体的プロセスを表現した内容が評価のポイントとなった。

本年度の採択案件は次のとおり

1. 国頭村商工会

プロジェクト名:「クイナの里「TREASURE」プロジェクト」

事業概要

イノシシと豚を交配させた「イノブタ」の高付加価値製品化を図り「燻製ハム」を研究開発中。本事業で生産、加工、販売の統合と品質管理を徹底したブランド化と、早だし茶を活用した新たな特産品開発を目指す。観光部門では、会員事業所を対象に森林セラピーガイドを養成し同ツアーを新規メニューに追加。滞在入域客の増を図る。

2. 伊江村商工会 補助額796万円

プロジェクト名:「全国に羽ばたけ！伊江村シモン合鴨」

事業概要

昨年度実施の「JAPANブランド戦略策定支援事業」で「シモン合鴨」のブランド戦略を策定した。本事業では、ブランドに基づく生丸鳥やその燻製などの試作品を開発する。また、製品に対するトレーサビリティシステムを確立する。

3. 久米島商工会(2年連続)

プロジェクト名:「食物アレルギー対応型 観光事業」

事業概要

昨年に引き続き2年連続の採択。楽天キャンプ誘致で地域ブランド力はついたものの、観光客数の長期停滞は否めない。競合観光地との差別化と新たな観光客ニーズ対応を図るため、健康をキーワードにした「久米島発・食物アレルギー対応旅行商品」の事業化を試みる。